

二宅花圃 （海） 歌人、小説家。明治元年十一月二十一日東京生れ、昭和十八年七月十八日没（二六六一九四三）。著書『田邊太一』（號蓮舟）の長女、本名龍子。筆名たつ子、ひさご、ひさご女史、浪花津花太夫、田邊たつ子、田邊花圃、田邊花圃女史、田邊龍子、花圃女史、辰子等。明治二十二年東京高等女學校卒。おは中島歌子の歌塾に塾生、樋口一葉とは同門。在學中おら小説を發表。二十五年二宅雪嶺と結婚。

著書『藪の鶯』（花圃女史名、明治二十一年六月十日金港堂）、小説

『みだれ咲』（夢借舎丁々子名義、明治二十五年二月五日春陽堂）、

『このこのしづく』全二冊（内題「贈正五位野もとりのしづく」）、『續篇

一東京日記夢のぞへ』本名、編、明治二十四年十一月九日金港堂書籍株式會

社）、中島歌子著『萩のしづく』全二冊（同、編、高崎正風選、明治

四十一年二月二十一日發行。再刊、昭和四年十一月五日救之舎同窓

會）、『花の趣味』（明治四十一年四月十八日服部書店）、『その日

その日』（大正二年一月一日東京社）、『現代婦人傳』（合著、神崎

清編、昭和十五年五月二十日中央公論社）、『安藤太郎小父の追想』（福

永恭助著、海將荒井郁之助、維新海戰記』昭和十八年五月二十五日森北

書店・附載）、『二十六年家撰』（山本茂複製、昭和二十二年十一月一

十五日刊）等。